

5. 平成28年度新庄病院運営の基本方針

県立新庄病院が所在する最上地域は、人口流出と少子高齢化による人口の減少、絶対的な医師不足など、医療を取り巻く環境が県下で最も厳しく、また一般診療所等が少なく、分娩取扱い医療施設が当院のほかにはない等の事情から、夜間・休日も含め最上管内の患者が当院に集中している現状にあります。

このような中、当院は、「仁・愛・和」を基本理念とする病院憲章の下、最上二次保健医療圏唯一の基幹病院として、医療が高度化、多様化する中で、老朽化した施設・設備のきめ細かな修繕や保守点検等により病院機能を維持しながら、D P C への対応、高度医療機器の更新、医師臨床研修の着実な実施、地域医療連携の推進など、地域の医療需要に応える努力を積み重ねてまいりました。

平成28年度は、「山形県病院事業中期経営計画」の2年目として、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供するため、4つの柱を掲げ、重点項目を中心に施策を展開してまいります。

○ 使命（ミッション）

最上二次保健医療圏唯一の基幹病院として地域住民に信頼と安心を与える医療を提供します。

○ 目指す姿（ビジョン）

- 1 地域住民が安心してかけられる総合医療を推進します。
- 2 高次の専門医療及び技術を提供します。
- 3 管内医療機関、福祉施設等との連携による地域完結型医療の充実を図ります。
- 4 良質な医療を提供し続けるため、収支の均衡を図ります。

○ 取組みの柱と重点的取組み

1 質の高い医療の提供

- (1) 安全、安心、信頼の医療の提供
総合医療情報システムを活用した医療安全の推進、クオリティインディケーター（医療の質の指標）の公開、5 S 運動の推進、チーム医療の推進、新庄病院健康まつりの開催、新庄病院業務継続計画（B C P）の策定、病院機能評価受審（平成29年度）に向けた取組みを通じた医療の質の向上
- (2) 病院改築整備基本構想の策定に向けた検討の実施
- (3) 医療機器、施設等の整備
血液・生化学検査装置の更新、C棟電気室遮断器の更新

2 人材の確保と育成

- (1) 医師、看護師等医療スタッフ確保対策の推進
（医師）大学医局等との連携強化、研修医の確保・育成、広域連携臨床実習の受入れ拡充、総合診療医育成に向けた専門研修医の募集
（看護師等）地元出身学制の実務実習受入れ
- (2) 職員の資質及びモチベーションの向上
院内研修会の充実、専門資格取得・維持の推進
- (3) 米沢栄養大学や保健医療大学等との連携の推進
新たな病院食の献立充実、実務実習及びインターンシップの受入れ

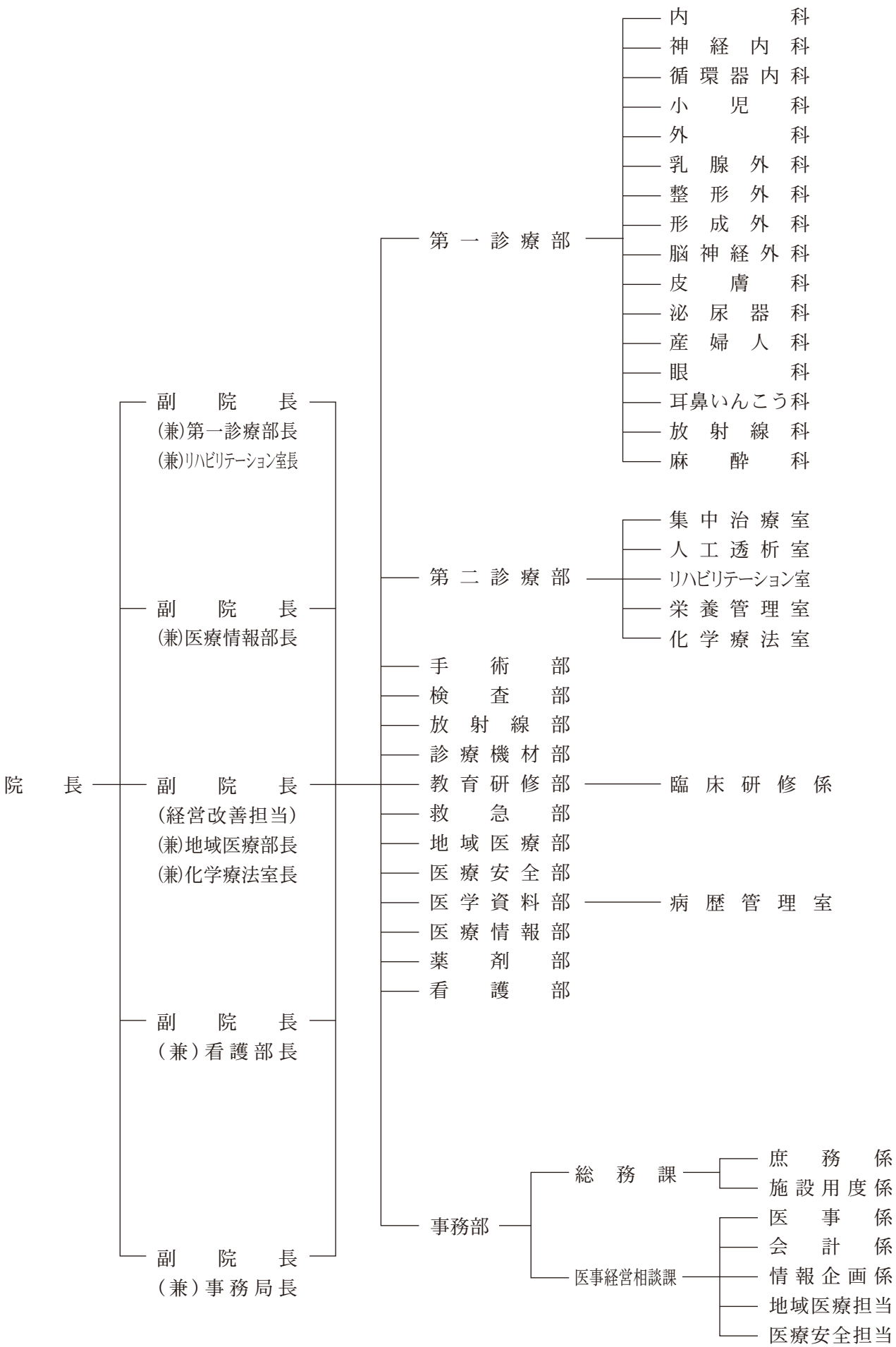
3 医療連携・機能分担の推進

- (1) 大学及び県立病院間の連携強化
- (2) 医療機関及び介護・福祉施設・在宅医療との連携
地域医療部情報紙「んだじゅ通信」の発行、もがみネット等の活用拡大
- (3) 介護・福祉等の関係機関と病院スタッフとの多職種連携による退院支援の充実・促進

4 経営の改善

- (1) 経営内容に係る情報共有
B S C によるP D C Aサイクルの展開、経営状況や課題についての職員の情報の共有化、診療情報管理士による管理・D P C 等の分析の強化、経営改善等に関する研修会の開催
- (2) 病院事業における安定した収益の確保
診療報酬改定への迅速な対応、紹介率、逆紹介率向上のための開業医等に対する当院の医療内容に係る広報の充実、地域包括ケア病棟の活用
- (3) 医業費用の効率化
医薬品・診療材料の価格交渉等の強化、後発医薬品の使用拡大、光熱費等の節減
- (4) 個人医業未収金対策の強化
医療相談部門の強化による早期の制度周知、患者サービス向上の観点からの退院時請求率の向上

6. 組 織 機 構



7. 職 員 現 員 表

平成28.5.1現在

所 属 ・ 職 名			技 術	事 務	技 労
医 師			4 6		
研 修 医			1		
第 二 診 療 部	リハビリテーション室	理 学 療 法 士	9		
		作 業 療 法 士	4		
		言 語 聴 覚 士	3		
		小 計	1 6		
	栄 養 管 理 室	管 理 栄 養 士	5		
		調 理 技 能 員			1 7
		小 計	5		1 7
	計		2 1		1 7
診 療 機 材 部		臨 床 工 学 技 士	2		
薬 剤 部		薬 剤 師	1 4		
検 査 部		臨 床 検 査 技 師	2 1		
放 射 線 部		診 療 放 射 線 技 師	1 3		
看 護 部		看 護 師	2 8 8		
		准 看 護 師	1		
		視 能 訓 練 士	1		
		臨 床 工 学 技 士	2		
		計	2 9 2		
事 務 部	総 務 課	事 務 職 員		1 4	
		行 政 技 能 員			1
		技 術 技 能 員			2
		施 設 技 能 員			5
		小 計		1 4	8
	医 事 経 営 相 談 課	事 務 職 員		1 0	
		診 療 情 報 管 理 士		3	
		看 護 師	3		
		社 会 福 祉 士		1	
		小 計	3	1 4	
計			3	2 8	8
合 計			4 1 3	2 8	2 5
総 計			4 6 6		

8. 診療科別医師数

平成28.5.1現在

診療科	常勤	非常勤	計	備考
内科	11	8	19	
神経内科	－	1	1	
循環器内科	兼(4)	－	兼(4)	内科(兼)
小児科	4	7	11	
外科	7	－	7	
乳腺外科	兼(7)	－	兼(7)	外科(兼)
整形外科	4	4	8	
形成外科	2	2	4	
脳神経外科	2	－	2	
皮膚科	1	2	3	
泌尿器科	2	2	4	
産婦人科	4	7	11	
眼科	2	1	3	
耳鼻咽喉科	3	3	7	
放射線科	3	－	3	
麻酔科	1	5	6	
人工透析室	兼(4)	3	3	内科(兼)循環器内科(兼)
リハビリテーション室	兼(1)	－	－	脳神経外科(兼)
病理科	－	2	2	
その他	1	－	1	研修医(2年次)
計	47	47	94	

9. 臨床研修医の受入れ状況

(単位：人)

研修区分	27年度	28年度
初年次	1	0
2年次	1	1
計	2	1

10. 病棟別病床数及び看護体制

平成28.5.1現在

区分	診療科		病床数			看護職員数	夜勤体制	
	診療科名	科別床数	部屋別			看護師・准看護師	準夜勤	深夜勤
			種別	室数	病床数			
1病棟	小児科 内科（消化器） 計	12 34 46	1床室 4床室 6床室 （計）	8 2 5 15	8 8 30 46	25	3	3
2病棟	産婦人科 内科（消化器：女性） 計	30 13 43	1床室 4床室 6床室 （計）	7 6 2 15	7 24 12 43	26	3	3
3病棟	整形外科 計	40 40	1床室 2床室 4床室 （計）	6 1 8 15	6 2 32 40	21	3	2
5病棟	外科 泌尿器 緩和ケア 内科（消化器） 計	26 9 4 16 55	1床室 2床室 4床室 5床室 6床室 （計）	6 1 4 1 5 17	6 2 16 5 30 59	25	3	3
6病棟	内科 整形外科 その他の診療科 計	18 18 4 40	1床室 2床室 3床室 4床室 （計）	5 1 3 6 15	5 2 9 24 40	17	2	2
7病棟	休棟 計	0 0	1床室 2床室 4床室 5床室 6床室 （計）	4 1 6 1 3 15	4 2 24 5 18 53			
8病棟	内科（呼吸器） 耳鼻咽喉科 形成外科 人間ドック 計	30 18 4 2 54	1床室 2床室 4床室 6床室 ドック室 （計）	2 4 1 7 2 16	2 8 4 42 2 58	25	3	3
10病棟	脳神経外科 内科（呼吸器） 眼科 感染症室 計	38 9 3 2 52	1床室 2床室 4床室 6床室 （計）	6 4 1 6 17	6 8 4 36 54	25	3	3
11病棟	内科（循環器・腎臓） クリーンルーム 計	52 2 54	1床室 2床室 4床室 6床室 （計）	4 3 1 7 15	4 6 4 42 56	25	3	3
集中治療室		4			5	17	2	2
人口透析科						14 (臨床工学士含)		
手術室						19		
外来						47 (視能訓練士含)		
看護部長室						6 (事故要員3含)		
計		病床数	室数		許可病床数	292	25	24
		388	140		454			